

R 3 富士決勝 今季初チェッカー！

～完走扱いにならずも、進化へむけ確実な一歩を進む。

5万5千人を超えるGTファンが駆けつけた決勝。赤旗中断や、ローリングスタートが2周など波乱のレースとなった。クスコレーシングは、1分45秒台～46秒台前半をキープし、スタートポジション15位から12位へポジションを上げ順調に進んでいた。しかし、11周目に、リアに駆動が伝達しないという車両トラブルのためピットイン。通常であれば、リタイヤ申請するところを、最後まで諦めない！とチーム一丸となり修理にとりかかった。限られた時間からミッション交換を決断。1周でも多く走れるよう、急ピッチで作業を進めた。約2時間弱経過後、レースへ復帰。ドライバーは山野選手のまま、タイヤを交換せずピットアウト。トップ集団と変わらず、レース後半1分45秒台をキープし、ベストタイム1分44秒801をマーク。46周走行するが、規定周回を越えられず、結果的には完走扱いにならなかった。

～チームの流れ～

スタートドライバーは山野選手。15位からスタート。
12位へポジションアップ。
11周目、駆動系伝達トラブルでピットイン。
ミッション交換へ取り掛かる。
(リタイヤ申請をせず、データ収集を兼ねレース復帰をすることに決定)。
約2時間後、作業終了。山野選手がピットアウト。(タイヤ交換なし)。
ベストタイム、1分44秒801マーク(33周目)。
46周走行。規定周回70周を越えず、完走扱いにならず。

～決勝後 監督コメント～

きちんとした形でレースを終えることができず、応援していただいているファンの皆さん、スポンサーの皆さん、ドライバー、チームスタッフに対して、大変申し訳なく思っています。しかし、毎戦、毎戦速くするためのポイントが発見出ています。速く、強い、マシン・チーム作りを、一步一步行っています。皆様の応援が何よりのはげみです。今後ともよろしくお願いします。

決勝 結果

クスコ DUNLOP スバルインプレッサ 1'44.801



	チーム名	タイム
43	ARTA Garaiya	1'43.917
88	アクティオ ムルシエ RG-1	1'43.639
101	TOY STORY Racing	1'44.307



193のひとりごと

～クスコレーシングの裏話をちょこっと～

GWの富士はいい天気ですわね～。そろそろクールスーツが必要な季節になってきました。予選日の夜、山中チーフエンジニアがのこぎりを取り出したんです！何を始めるかと思うと、ドライアイスがザクザク切断。このドライアイス、ドライバーのクールスーツ用なんです。クーラーボックスに氷しかいれないと、すぐに溶けてしまうのでドライアイスと一緒にいれると溶けにくい氷に変身！理科の実験を使ったテクニックですね。

CUSCO RACING INSIDE REPORT は、株式会社キャロッセが作成したもので、主筆者ならびにGTAの公式リリースではありません。



◀クスコレーシングのブログにアクセス出来ます。

<http://www.cusco.co.jp>

